

青函連絡船メモリアルシップ「八甲田丸」
あおもり駅前ビーチ（干潟）とまちづくり～共に創ろう！未来～
開催期間：2019年7月1日（月）～2019年10月31日（木）



企画展会場



企画展会場



むつ湾のアマモ場（水槽）展示



駅前ビーチ（干潟）及び周辺の立体模型の展示



あおもり駅前ビーチプロジェクト



うみべん（海の勉強会）

【企画展の内容・目的】

■本企画展は、過去3年間行ってきた海の臨海学校「むつ湾シーサイドスクール」の集大成として位置づけ、青森市のみならずむつ湾沿岸市町村の今後の取組みにつながるよう、海を通した未来のまちづくりをテーマにした展示構成とする。

●展示内容

1. 名称：過去へ、未来へ、タイムトラベル！
 - ①過去 むつ湾と港の変遷パネル
 - ②現在 活動記録パネル、うみべん、うみゼミ、むつ市体験館（イルカ関連）、浅虫水族館（海の学び活動）、港湾施設
 - ③未来 周辺の未来構想図パネル、駅前ビーチ（干潟）、青森駅舎、東西自由通路、西口広場（ともに2020年度末完成予定）
※来場者参加型のパネル展示 夢の寄せ書き、アイデアの提案と掲出
2. 名称：駅前ビーチ（干潟）とまちづくり 共に創ろう！未来
主な展示物：駅前ビーチ（干潟）及び周辺の立体模型
3. 名称：共生のシンボル 守ろう！むつ湾のアマモ場
主な展示物：むつ湾のアマモ場（水槽）の展示
4. 名称：動画で実感！「むつ湾の魅力」ア・ラ・カルト
主な展示物：50インチモニターの設置と映像の放映

■付帯事業として、八甲田丸近隣で開催される「人工ビーチ（干潟）」の完成に向けた関連イベントへの出店や、海をテーマにした市民活動に協力し継続的な取組に派生させる。

1. 事業名：港のイベントとのコラボレーション
場所：あおもり北のまほろば歴史館
2. 事業名：うみべん（海の勉強会）
場所：横浜町、蓬田村
3. 事業名：あおもり駅前ビーチプロジェクト
場所：八甲田丸（企画展会場）
4. 事業名：環境にやさしい未来の創造 「あおもりべじまつりとシーカヤック体験」
場所：ねぶたの家「ワ・ラッセ」

1. 企画展示の内容

- 開催期間：2019年7月1日（月）～2019年10月31日（木）
- 開催場所：青函連絡船メモリアルシップ「八甲田丸」
- 入場者数：40,020人



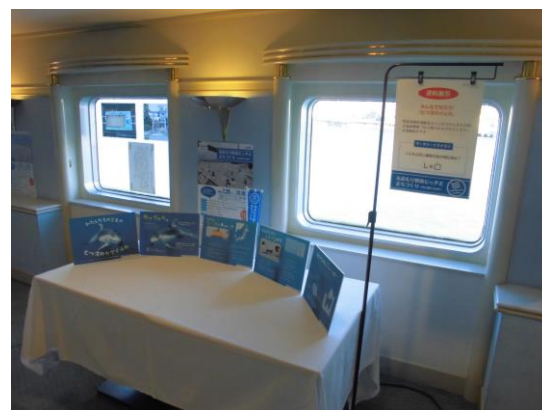
八甲田丸外観



入口看板



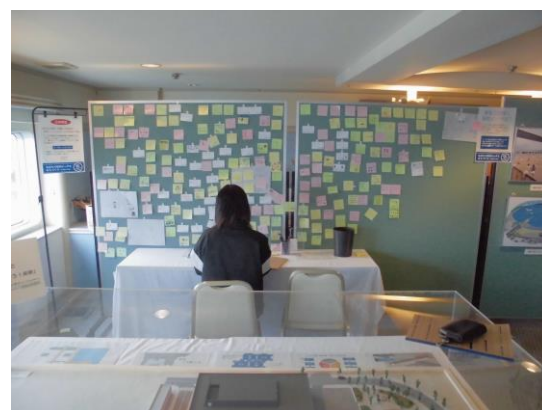
むつ湾と港の変遷パネル・活動記録パネル



むつ湾のイルカ関連パネル



駅前ビーチ（干潟）関連パネル



来場者参加型の寄せ書き・アイデアの提案と掲出

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

1. 過去へ、未来へ、タイムトラベル！

■主な展示内容：各種展示パネル

1. 過去 … むつ湾と港の変遷パネル
2. 現在 … 活動記録パネル
 - ・うみべん、うみゼミ
 - ・むつ市体験館（イルカ関連）
 - ・浅虫水族館（海の学び活動）
3. 未来 … 周辺の未来構想図パネル
 - ・駅前ビーチ（干潟）
 - ・青森駅舎、東西自由通路、西口広場（ともに2020年度末完成予定）

※来場者参加型のパネル展示

- ・夢の寄せ書き、アイデアの提案と掲出

■成果

1. 様々なテーマから「むつ湾」をクローズアップし、その変遷と「海と人々の暮らし」との関係性を明確にすることができた。
2. 海をテーマに活動する各団体の各種活動の周知に繋げることができた。
3. 見学だけで終わらず、興味・関心を喚起し、展示からの学びを通して感じたことを書き記してもらうことで、今後の「むつ湾」の海洋に対する様々な視点や感じ方を共有することができた。
4. 「青函連絡船」の歴史と功績の伝承にとどまらず、地域の海「むつ湾」に関する情報発信拠点としての役割を担うことができた。

■来場者参加型のパネル展示（夢の寄せ書き、アイデアの集約）

【ビーチに求めるイメージ】

- ①誰もが楽しめるビーチ（子供、大人、家族、お一人様、高齢者、障がい者、外国人）
- ②海の生き物と触れ合えるビーチ
- ③イベントがたくさんあるビーチ

【具体的な意見】

- ①海の家 カフェ、食事、シャワー、ロッカー、トイレ、ショップ
 - ・カラフルな壁アート（海を大切に思えるような、気分が明るくなるような、写真撮影ができる壁画）
- ②海の杜 生き物が棲める漁礁（群等の設置） 杜：人工的イメージ、森：自然的イメージ
 - ・ミニ水族館 ・潮干狩り
- ③スポーツ ビーチバレー、釣り、マリンスポーツ（カヤック、SUP）
レジャー キャンプ・バーベキュー
 - ・海のピアガーデン（ライトアップ＋音楽＋食事）
 - ・砂浜映画館（プロジェクターで映像）
 - ・ライトアップ（光と噴水のアートショー、プロジェクションマッピング）



駅前ビーチ（干潟）及び周辺の立体模型



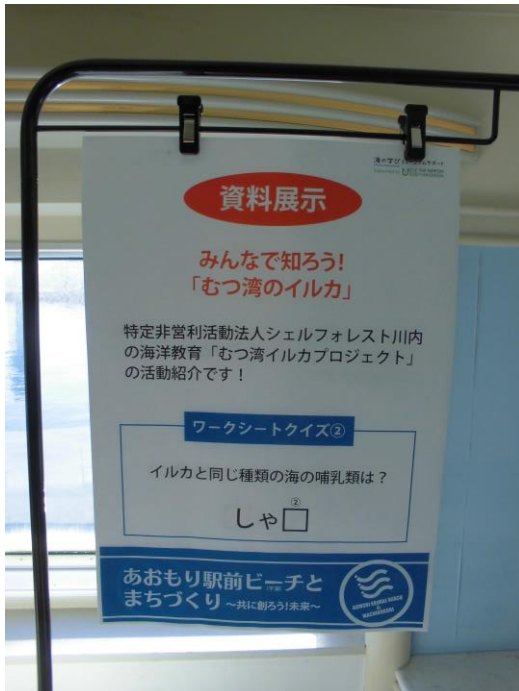
駅前ビーチ（干潟）及び周辺の立体模型



立体模型キャプション



ワークシートクイズ



ワークシートクイズ

企画展示ワークシートクイズ

下記各企画展示コーナー（パネル展示・立体模型・資料展示・モニター設置）にあるPOPスタンドの紙に明記しているクイズに答えて景品をGETしよう！
①から⑤の答えひらがな一文字を下の空欄に記入して現れるキーワードとは？

- ワークシートクイズ①【モニター設置コーナー】
動画で実感！「むつ湾の魅力」ア・ラ・カルト
- ワークシートクイズ②【資料展示コーナー】
みんなで知ろう！「むつ湾のイルカ」
- ワークシートクイズ③【パネル展示コーナー】
むつ湾の移り変わりを見よう！「過去へ、未来へ、タイムトラベル！」
- ワークシートクイズ④【立体模型コーナー】
あなたの思いを描いてみよう！「駅前ビーチ（干潟）とまちづくり 共に創ろう！未来」
- ワークシートクイズ⑤【立体模型コーナー】
高校生が発案！「未来に向けて 新中央埠頭体験型観光施設の夢」

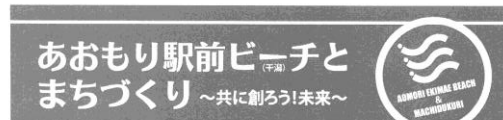
① ② ③ ④ ⑤

□ □ □ □ □

キーワードを当てた方には
ロゴもしくはイルカ缶バッジプレゼント！

*先着 300 名様（なくなり次第終了）
*お一人様一回とさせていただきます

海の学びミュージアムサポート
Sponsored by THE NIPPON
FIBER FOUNDATION



ワークシート回答用

2. 駅前ビーチ（干潟）とまちづくり 共に創ろう！未来

■主な展示内容：駅前ビーチ（干潟）及び周辺の立体模型
海の学びに関するワークシートクイズ

■成果

1. 地域の海に関する未来を知り、地域の海に関して考える機会を創出することができた。
（来館者の意識醸成）
2. 地域の海で開催される各種関連イベントの告知を通して、参加意識を醸成することができた。
3. 地域の海「むつ湾」を知る情報発信拠点としての役割を旅行者はもちろんのこと、地元住民、自治体に対してもアピールすることができた。



むつ湾のアマモ場（水槽）展示



むつ湾のアマモ場（水槽）展示

3. 共生のシンボル 守ろう！むつ湾のアマモ場

■主な展示内容：むつ湾のアマモ場（水槽）の展示

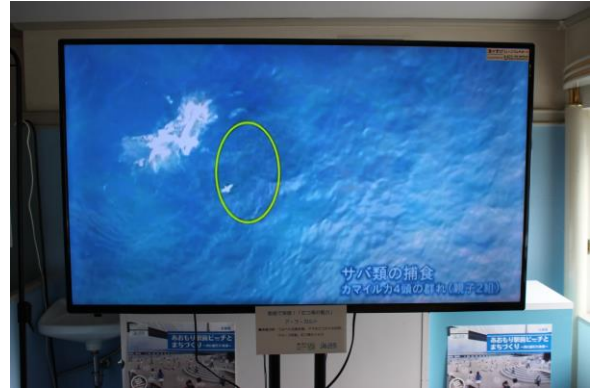
■内容：青森県営浅虫水族館と連携し、むつ湾のアマモ場（水槽）を八甲田丸船内に展示し、海の学びの情報発信をする。

■成果

1. むつ湾のアマモ場を水槽で展示することにより、パネルとは違った実像を体感することができた。
2. すでに海洋教育を実践している「浅虫水族館」による「展示」協力が得られた。



映像の放映



映像の放映

4. 動画で実感！「むつ湾の魅力」ア・ラ・カルト

■主な展示内容：50^{インチ}モニターの設置と映像の放映

■内容：映像内容は、活動記録、アマモ・ワカメのお話、イルカなど

■成果

1. 地域住民はもとより、観光客にも「むつ湾の魅力」を伝えることができた。

2. 関連事業の内容

■港のイベントとのコラボレーション

【開催日時】2019年10月14日（月）9:00～17:00

【開催場所】あおもり北のまほろば歴史館

【参加者数】4,532人

【実施内容・目的】

- あおもり北のまほろば歴史館で開催の「おもりこども民俗フェス」へ出展。
- 過去の実施内容を写真で紹介し、歴史館への入館者に「むつ湾」の魅力を伝える機会とする。



展示の様子

1. 過去の実施内容を写真で紹介することで、イベント参加者に、地域の海について紹介する絶好の機会となった。
2. イベント参加者に八甲田丸船内で行われている企画展への誘導を行うことで、相乗効果を得ることができた。

■うみべん（海の勉強会）

【開催日時】横浜町：2019年7月24日（水）

蓬田村：2019年8月9日（金）

【開催場所】横浜町：砂浜海岸海水浴場

蓬田村：玉松海水浴場

【参加者数】約200人

【実施内容・目的】

- 3年間行ってきた海の臨海学校「むつ湾シーサイドスクール」活動をむつ湾沿岸8市町村から構成される「むつ湾広域連携協議会」の環境部会へ移行し、活動を継続。



うみべん横浜町編



うみべん横浜町編



うみべん蓬田村編



うみべん蓬田村編

3年間行ってきた海の臨海学校「むつ湾シーサイドスクール」活動をむつ湾沿岸8市町村から構成される「むつ湾広域連携協議会」の環境部会へ移行させ活動を継続することで、これまで青森市内の親子を中心に実施してきた活動が、広域的な活動へと発展させることができた。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等ではできません。

■あおもり駅前ビーチプロジェクト

【開催日時】①2019年9月22日（日） ②2019年10月27日（日）

【開催場所】八甲田丸船内（企画展会場）

【参加者数】①12人 ②20人

【実施内容・目的】

- 「駅前ビーチ」の立体模型、来場者の声を展示した会場を使いながら、港湾施設及び周辺エリアの利活用を検討する。
- 関係者からの説明や資料の提供、大学生からのアドバイスを受けながら、今後の取組や将来の姿を提案してもらう。
- 実現可能な提案については、積極的に反映させるなど人材育成につなげる。



事前説明



大学生からのアドバイス



提案発表



提案発表

1. 若い世代の柔軟で、大胆な発想による提案をしてもらうことにより、地域の若い世代（高校生、大学生）の意識醸成を図りつつ、人材育成につなげることができた。
2. 参加型の海辺づくりを進めることにより、地域の若い世代にも興味を持ってもらい、継続的な海での学びにつなげることができた。
3. 地域の若い世代の意欲を引き出し、愛着を持ってもらいながら、定住化へのきっかけにつながった。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

■環境にやさしい未来の創造

「あおもりべじまつりとシーカヤック体験」

【開催日時】2019年9月22日（日）

【開催場所】駅前ビーチ（干潟）予定地周辺エリア

【参加者数】約300人

【実施内容・目的】

- あおもりべじまつりを目的とした来港者にも、シーカヤック体験や企画展を通して身近な地域の海「むつ湾」を意識してもらう。
- あおもりべじまつりは、CO2などの環境負荷の低減もテーマの一つとして活動しており、プラスチックごみ、地球温暖化などの課題にも関心があることから、シーカヤック体験や企画展を通して、エコなライフスタイルを見直してもらう。



べじまつり会場 海ごみゼロの意識醸成



べじまつり会場



べじまつり会場



べじまつり会場

あおもりべじまつりは、

「食と健康」など、直接的に海への関心を持たない客層を対象にしている事業ではあるが、駅前ビーチ（干潟）予定地周辺エリアを開催場所とし、時期は毎年「秋分の日」前後に、今回で7年目となる継続的な事業であり、来港者には、添加物を用いないことや環境負荷の低減などへの「こだわり」もメッセージとしてよく浸透しているイベントである。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



べじまつり会場 シーカヤック体験



べじまつり会場 シーカヤック体験

1. シーカヤック体験や企画展を通して、海の恩恵、海の生物との共生を体感してもらい、暮らしやすい地域の在り方について考えるきっかけとなった。
2. 「海」の自然環境との共存を意識しながら、人にやさしい「まちづくり」のイメージの中に「海」を取り入れてもらうことができた。

【来館者の声】

- 回答内容A (44歳・女) パネル展示
むつ湾の変遷パネルを見ると、古くから青森市は陸奥湾に恩恵を受けて発展してきた街だと思つた。
- 回答内容B (39歳・男) 映像放映
青森県にとって陸奥湾がとても大切な存在であることが解つた。
- 回答内容C (58歳・女) 過去、現在、未来の各種パネル
子供たちを対象に様々な活動をしている団体があるのだと初めて知つた。
- 回答内容D (30歳・女) 過去、現在、未来の各種パネル
パネルで紹介している活動は、未来がある子供にとって、とても有意義な活動だつたと思う。
- 回答内容E (33歳・女) むつ湾水槽展示
むつ湾に生息するアマモの大切さがよく理解できた。
- 回答内容F (61歳・女) 駅前ビーチの完成模型
中心市街地にビーチが完成すると海が身近に感じ楽しみです。孫を連れて遊びに行きたいです。
- 回答内容G (35歳・女) 過去、現在、未来の各種パネル
地域の海と人とのつながりについて、再確認する良い機会になりました。ありがとうございます。

【事業全体のまとめ】

- ①地域の海「むつ湾」の恩恵と共存を文化、歴史、経済、産業、社会、環境など多岐にわたるテーマから古より続く地域の「海」と「人」とのつながりを観光客はもちろんのこと地域市民に対しても再認識してもらう絶好の機会となった。
- ②2020年八甲田丸近隣に人工的なビーチ（干潟）が完成予定であり、関連した地域のイベント等への出展を通して、ビーチ（干潟）完成までの機運の醸成と今後身近な海を活用した市民生活を考えてもらう良い機会となった。
- ③これまで実施してきた海洋教育活動である海の臨海学校「むつ湾シーサイドスクール」の実績を紹介したことで、「豊かな海」を次世代に引き継ぐための人材発掘に繋げることができた。
- ④地域を代表する海洋関連施設である青函連絡船「八甲田丸」が、地域の海「むつ湾」に関する情報発信拠点としての新たな役割を担うことができた。また、海をテーマにした市民の文化交流を通して、自治体を含む地域社会が協調する海から広まる「まちづくり」の推進役として活動する機会となった。

3. 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 青森県営浅虫水族館	水槽展示：むつ湾のアマモ場
2. むつ市海と森のふれあい体験館	パネル展示：資料提供
3. あおもり駅前ビーチプロジェクト (NPO 法人あおもり若者プロジェクト クリエイト)	付帯事業「クリエイトのあおもり駅前ビーチプロジェクト」の実施協力
4. 環境にやさしい未来の創造 あおもりベジまつりとシーカヤック体験 (NPO 法人 SEEDS NETWORK)	付帯事業「あおもりベジまつりとシーカヤック体験」の実施協力

4. 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. なし	
2.	
3.	
4.	
5.	

以上